



校訓「明朗」の姿とはどんなものでしょう

校長 日高 裕二

5月号では、校訓「好学」に向かうために、脳のしくみを意識して「音読」や「読むこと」を通して子供たちのポテンシャルを引き出すことが大切だとお話ししました。

今回は校訓「明朗」に迫りたいと思います。皆さんは「明朗」な人とは聞かれて、どのような姿を思い浮かべますか。私は、知識をたくさん頭に入れていて、頭脳明晰な人というイメージを持っていました。しかし、辞書で調べてみると「こだわりがなく、明るくほがらかなこと」と書いてあります。知識の量の多さには関係なさそうです。笠利小学校では、**人権尊重の精神を持ち差別を許さない態度を備えている。地域の人とも元氣な挨拶を交わせる。あるべきものをあるべき場所に整理整頓できると具体的に表現しています。**もちろんこれだけではないでしょうが、清々しい姿が見えるようです。しかし、これを全て兼ね備えていなければならないかというとなかなか難しいのが実情ではないでしょうか。

何かに取り組んでいるうちに、自然と他のこともできるようになっているということもあるように思います。朝、私が学校の正門前で立っていると、**立ち止まって挨拶をしてくれる児童**が多くいます。これは、学校で先生方に教えられたのか、少年団で教えられたのか、家庭で躡けられたのかもかもしれません。いずれにせよ、他の人に良い印象を持たれる習慣だと思います。その行動は相手の心を解し、相手の表情を明るくし、その表情を見て自分の表情も朗らかになるという不思議な流れを作り出します。

子供のうちは、学校の先生が、少年団の指導者が、お家のお父さんお母さんが「挨拶をできるようにならんといかんよ。」というので、意味は分からないけれども挨拶をしようという、自分に対して強いている部分も多いかもしれません。しかし、この「挨拶する」という行為に対する自分の考えを成長するにつれ持っていくことになります。社会に出るとその共通の課題に対してどのような考えを持っているか、その行動でお互いに察することになります。

このように、「明朗」とは他者と友好的な関係を築いていきたいと考え、他者の存在に沿った自分の行動をとることができたり、自分の弱さを制して身の回りのことを自分自身でできたりする社会性の育成だと考えます。これは、小学生のうちにできる子もいれば、大人になっても苦手な人もいるでしょう。**自分を認め、他者を尊重し、腹を割って心に訴える会話を交わす。**そんな些細な生活の一場面から、幸せを感じて進んでいく。そんな人になるよう子供たちを育てていきたいと考えているところです。

大人になったナミさんとミカさんがお仕事をしているところを6年生が想像しました。



マックの店員

6年



パイロット

6年



スタバの店員

6年



スタバの店員

6年

食に関する指導を実施しました(R7.5.16)

3・4年生を対象に「食に関する指導」を行いました。給食センターより栄養教諭の峰元玲子先生を講師にお迎えし、「よりよく成長するためには、どのような食べ方をすればよいのだろうか」というめあてのもと、食の大切さについて学びました。児童は、食べ物が体をつくるもとになることや、バランスよく食べることの大切さなどを分かりやすく教えていただき、真剣な表情で話を聞いていました。また、自分の食生活を振り返る良い機会にもなったようです。

指導の後は、給食試食会を実施し、保護者の方々と一緒に給食をいただきました。児童が毎日食べている給食を実際に味わいながら、温かな雰囲気にも包まれたひとときとなりました。



【栄養教諭 峰元玲子先生】



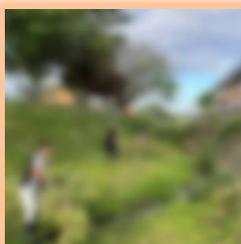
【給食試食会の様子】

PTA奉仕作業・市民清掃日(R7.5.18)

PTA奉仕作業としてプール掃除と周辺の草刈り作業を行いました。前日からの準備作業も含めて、当日は約30世帯の保護者の皆様や児童の皆さんにご参加いただきました。ご協力のおかげで、隅々まできれいになり、作業後には早速水をため始めることができました。児童が楽しみにしている水泳学習の準備が整い、職員一同、大変感謝しております。



消防車で川の水を吸い上げて、プール掃除をします。児童、保護者がブラシで一生懸命汚れを落とします。



高倉横のガジュマルも剪定していただき、スッキリしました。

また、この日は各集落で市民清掃や浜下りの行事もあり、多くの地域行事が重なる中でのご参加に感謝申し上げます。特に笠利3区の市民清掃では、学校周辺の河川清掃にもご協力いただき、学校周辺が一層美しくなりました。さらに各集落の浜下りも大いに盛り上がり、地域のつながりと活気が感じられる一日となりました。

地域の皆様の温かい支えに感謝しながら、今後も児童が安心して学べる環境づくりに努めてまいります。

児童集会かさいっ子 DAY(R7.5.20)

この日は、総務委員会の児童が企画した「みんなでそろえよう自己紹介！」が行われました。全校児童が縦割り班に分かれ、「好きな〇〇」というお題にそって自己紹介をしながら、班の中で答えをそろえるという活動です。初めは「好きな飲み物は?」「好きなスポーツは?」など、個性が分かれやすいお題で挑戦していた児童たち。しかし、なかなか答えがそろわないことに気付くと、「好きな曜日は?」「好きな赤い果物は?」など、全員が同じ答えになりやすいテーマを工夫しながら選ぶようになりました。



活動を通して、相手の意見を聞いたり、みんなで相談して決めたりする力が自然と育まれていく様子が見られました。楽しみながらソーシャルスキルトレーニングにもなる、工夫いっぱい集会でした。

7月行事予定

日	曜	行 事
4	金	学校評議員会
9	水	校内水泳大会(予備日)
12	土	土曜授業日 八月踊り練習(1~6年)② 児童総会③
15	火	学期末5時間授業(~17日)
18	金	終業式 愛のパトロール運動 17:30~
22	火	教育相談(~25日)

※今年度は出校日は8月21日のみとなります。

修学旅行(R7.5.28~29)一日遠足(R7.5.30)

佐仁小・笠利小合同で5・6年生は鹿児島市、南九州市へ修学旅行に、1~4年生は奄美大島世界遺産センター等へ行ってきました。佐仁小は同じ笠利中学校区の小学校です。中学校進学を見据えて、今後も小小交流を深めていきます。



ハブ咬傷予防教室(R7.6.4)

名瀬保健所から講師の先生をお招きし、ハブ咬傷予防教室を実施しました。児童たちは「ハブの生態」や「どのような被害があるのか」、「咬まれないためにはどうすればよいか」などについて、資料や映像を通してわかりやすく学ぶことができました。



毒の吸い取り方を実演する名瀬保健所吉田さん

実際に校長先生と岩切先生がハブを捕まえる場面もありました。児童は心配そうに見つめていました。

終了後には、本物のハブを間近で観察する時間もあり、普段はなかなか見ることのできない貴重な体験となりました。

奄美の自然と共に安全に暮らしていくために、これからも正しい知識と意識を身につけていきたいと思えます。



児童に見守られながら、ハブを捕まえる日高校長先生

今月のグリーンタイム

3年生は学級園にひまわりの苗を植えました。苗は校務員の船木先生が種から育てました。

5・6年生は、さとうきびを育てています。担任の河野先生や日高校長先生が土寄せをしたり、児童が雑草を抜いたりする作業を頑張りました。

どちらも夏に向けて成長が楽しみです。

